

- 問1 日本銀行が「発券銀行」として日本銀行券（紙幣）の供給量を調節し、金融政策を行うことで達成しようとしている、経済上の最も重要な目的は何ですか。（2025年 和歌山県公立入試 類似）
1. 外国との貿易を制限し、国内市場の独占を維持すること
 2. 政府の財政赤字を埋めるために、無制限に貨幣を増刷すること
 3. 物価を安定させ、国民経済を健全に発展させること
 4. 全ての国民に対して均等に現金を配分し、所得格差を是正すること
- 問2 1980年代後半から日本で発生したバブル経済の特徴について、その背景と内容を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2025年 島根県公立入試 類似）
1. 重化学工業の発展を背景に、10年以上にわたって年平均10%前後の高い経済成長を維持した。
 2. 長引く不況により物価が継続的に下落し、企業の倒産や失業者の増加が社会問題となった。
 3. 石油の供給不足により物価が激しく上昇し、戦後初めて実質経済成長率がマイナスになった。
 4. 投機目的の資金が流入したことで、土地や株式の価格が経済の実態を超えて急騰した。
- 問3 日本の家計や経済において、外国為替相場が「円安」に振れた際に生じる社会的な影響として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 福島県公立入試 類似）
1. 日本を訪れる外国人観光客にとって日本での滞在費が割高に感じられ、観光需要が減少する
 2. 輸入に頼っている原油や小麦などの輸入価格が上昇し、国内の物価を押し上げる要因となる
 3. 円の価値が高まるため、海外投資を行っている投資家が日本円に資産を戻しやすくなる
 4. 海外製品が安く手に入るようになるため、国内の消費者の購買意欲が高まる
- 問4 一般的な銀行（普通銀行）の収益の仕組みについて述べたものとして、最も適切な説明はどれですか。（2015年 佐賀県公立入試 類似）
1. 中央銀行からの補助金によって、預金者に支払う利子と企業から受け取る利子の不足分を補う。
 2. 預金利子率を貸し出し利子率よりも低く設定し、その差額を「利ざや」として収益にする。
 3. 預金者から手数料を受け取り、それを全額、企業への貸し出し資金に充てることで収益を上げる。
 4. 貸し出し利子率を預金利子率よりも低く設定し、その差額を「利ざや」として収益にする。
- 問5 銀行は家計から預金として集めた資金を、資金を必要とする企業などに貸し出しています。このとき、銀行の主な収益源となる「利ざや」が発生する仕組みについて、正しく説明しているものはどれですか。（2024年 神奈川県公立入試 類似）
1. 中央銀行から支払われる補助金を、預金者に利子として分配した残りを収益とする。
 2. 銀行が預金者に支払う預金金利を、貸出先から受け取る貸出金利よりも高く設定する。
 3. 預金金利と貸出金利を同等に設定し、預金の総額が増えることによって利益を得る。
 4. 銀行が貸出先から受け取る貸出金利を、預金者に支払う預金金利よりも高く設定する。
- 問6 一般的な銀行の仕組みにおいて、家計から預かった資金（預金）を企業などに貸し出す際、銀行はどのようにして自らの利益を得ているか、最も適切な説明を選びなさい。（2018年 徳島県公立入試 類似）
1. 預金者に支払う利子と、企業などに貸し付ける際の利子を同等に設定し、政府からの補助金を利益とする。
 2. 利子による収益は一切得ず、銀行の窓口やATMを利用する際の手数料のみをすべての利益とする。
 3. 預金者に支払う利子よりも、企業などに貸し付ける際の利子を高く設定し、その差額を利益とする。
 4. 預金者に支払う利子を、企業などに貸し付ける際の利子よりも高く設定し、預金残高を増やすことで利益とする。
- 問7 不況のときに、景気を回復させるために日本銀行が行う金融政策と政府が行う財政政策の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。（2025年 徳島県公立入試 類似）
1. 日本銀行が国債を買い入れて通貨量を増やし、政府が減税や歳出拡大を行う。
 2. 日本銀行が公共事業の支出を拡大し、政府が国債を売却して通貨量を減らす。
 3. 日本銀行が増税や歳出削減を行い、政府が国債を買い入れて通貨量を増やす。
 4. 日本銀行が国債を売却して通貨量を減らし、政府が増税や歳出削減を行う。
- 問8 景気が過熱して物価が上がり続けるインフレーションの懸念があるとき、日本銀行が行う金融政策とその目的についての説明として、最も適切なものを次の中から選びなさい。（2020年 岐阜県公立入試 類似）
1. 金利を下げることで、市場に出回る貨幣の量を増やし、経済活動をさらに刺激する。
 2. 公共事業を削減することで、政府の支出を抑え、市場の資金流通量を直接減少させる。
 3. 増税を行うことで、国民の可処分所得を減らし、消費行動を直接抑えることで物価の上昇を止める。
 4. 金利を上げることで、企業や個人が資金を借りにくくし、景気を抑制して物価の安定を図る。
- 問9 日本銀行を中心とした資金の流れについて説明した次の文のうち、中央銀行の仕組みとして正しいものはどれですか。（2023年 福岡県公立入試 類似）
1. 日本銀行は政府の資金である国庫金を取り扱うほか、一般の銀行との間で資金の貸し出しや預金の受け入れを行う。
 2. 日本銀行は政府の資金を取り扱う一方で、一般の企業に対しては直接、設備投資のための貸し出しを行う。
 3. 日本銀行は家計（個人）からの預金を直接受け入れ、その資金を一般の銀行へ貸し出す役割を持つ。
 4. 日本銀行は一般の銀行との間で預金の受け入れを行うが、政府の間では資金のやり取りは行わない。
- 問10 日本銀行が景気回復を目的として、民間金融機関を対象に「買いオペレーション」を実施した際に生じる、経済への影響の因果関係として正しいものはどれですか。（2020年 和歌山県公立入試 類似）
1. 日本銀行が国債を買い取ることで民間金融機関の資金量が増え、金利が低下し、企業が資金を借りやすくなる。
 2. 日本銀行が国債を買い取ることで政府の税収が増え、社会保障などの公共サービスが充実し、消費が拡大する。
 3. 日本銀行が国債を売り出すことで円の価値が高まり、輸入製品の価格が下がることで、家計の支出が減少する。
 4. 日本銀行が国債を売り出すことで民間金融機関の資金量が減り、金利が上昇し、物価の上昇が抑えられる。
- 問11 日本銀行が一般の銀行に対して国債を売却し、市場の資金を引き上げる政策を実施する「背景」と「目的」について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。（2018年 大分県公立入試 類似）
1. 景気が過熱している際、通貨量を減らすことで物価の上昇を抑え、景気を安定させるため
 2. 景気が後退している際、通貨量を増やすことで企業の投資を促し、景気を刺激するため
 3. 政府の財源が不足している際、市場から一時的に資金を借り入れることで予算を確保するため
 4. 円高を是正するために、外国為替市場において大量の日本円を供給し、通貨価値を下げるため
- 問12 家計や企業の間で資金を融通し合う金融の仕組みにおいて、銀行などの金融機関が、預金者から集めた資金を企業などの借り手に貸し出す方法を何と呼びますか。（2025年 愛媛県公立入試 類似）
1. 直接金融
 2. 間接金融
 3. 株式投資
 4. クラウドファンディング